

令和6年能登半島地震に係る災害関連死の認定について

6月18日に開催した輪島市災害弔慰金等認定審査会の審査結果を踏まえ、下記のとおり令和6年能登半島地震の関連死と認定しました。

記

認定：19件

認定の内訳※御遺族から承諾をいただいた範囲内で公表しています。

番号	年代	性別	経緯・認定理由
1	80代	女性	特別養護老人ホームで被災。施設は停電により暖房が使用できないという過酷な状況の中、間質性肺炎のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
2	80代	男性	自宅で被災し近隣の自主避難所に避難したが、停電により暖房が使用できず翌日帰宅。その後体調不良、発熱により入院したが、肺炎のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
3	90代以上	女性	避難所でインフルエンザに感染し、肺炎のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
4	80代	男性	避難所で新型コロナウイルスに感染し、慢性心不全の急性増悪と肺炎のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
5	80代	男性	自宅で被災し、近隣の福祉施設に避難したが、停電により暖房が使用できない中、体力が低下し、嚥下機能障害等の基礎疾患と相俟って誤嚥性肺炎のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
6	80代	男性	自宅で被災し複数の避難所を移動後、1.5次避難所を経て金沢市内のアパートに入居。地震によるショック・ストレスや生活環境の激変により心身への負荷が生じ、うっ血性心不全と細菌性肺炎のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
7	90代以上	女性	特別養護老人ホームで被災。施設は停電により暖房が使用できないという過酷な状況の中、急性心不全のため死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
8	80代	女性	地震により自宅建物の下敷きになり、胸部等を圧迫骨折。寝たきり状態で換気不全となりⅡ型呼吸不全により死亡。災害と死亡の間に相当因果関係が認められた。
9	80代	男性	非公表
10	90代以上	女性	非公表

その他9件はすべて非公表

(参考) 審査結果：審査件数23件（認定19件、継続審査4件）